



# 代っ子通信

令和7年9月3日  
<第26号>  
校長 平塚智康

## 地域を盛り上げる子どもたちの頑張り

9月1日、服部神社の秋祭り「八朔祭り」が行われました。境内で奉納舞された大獅子が町内のあちこちを練り歩き、社殿では平和を祈る浦安の舞を奉納。五穀豊穣を祈願し感謝を捧げます。

この日は2学期の始業式。2学期のスタートにあたり、始業式の前に、山代青年会の若衆たちが、体育館で山代伝統の獅子舞を披露してくれました。

児童の中には、午後から青年会の若衆たちといっしょに町内を獅子舞（棒振り）をしながら練り歩いた子たちもいます。この子たちは、夏休み中、学校の体育館で、棒振りの練習をとてもがんばったということです。夕方、温泉通りに見に行くと、子どもたちが勇ましい姿で棒振り役を演じている姿に出会えました。

また、8月はじめに行われた「山代大田楽」にも、本校の子どもたちがたくさん参加しがんばっていました。山代中の1年生は、総合的な学習の一環として、全員が「山代大田楽」に参加していました。（もちろん、去年の6年生たちも、元気いっぱい踊っていました。）

このように、地域の伝統を受け継ぎながら、山代温泉を盛り上げようと、地域の行事に積極的に参加しがんばっている子どもたちの姿を見ると、とてもうれしくなります。この子たちが、ふるさと山代の歴史や伝統文化、そして人とのつながりや絆を大切に思いながら、成長していってほしいなと願う私でした。



<山代青年会の皆さんによる獅子舞>



<棒振りを頑張る子どもたち>



<女子も棒振りに参加！かっこいい>



<山代大田楽の様子>

## 不審者対応訓練

7月18日、1学期終業式の日に、旅館「加賀の宿宝生亭」さんで、下校時に不審者に声をかけられたら、という想定で「不審者対応訓練」が行われました。

訓練は、不審者役となった大聖寺署署員が、本校の児童に声をかけ、男を不審に思った児童たちが近くの旅館（宝生亭さん）に逃げ込み、旅館の従業員が、児童たちから不審者の特徴を聞き取ったり、110番通報したりする、という内容です。

この日は、宝生亭さんの近くに住んでいる子どもたち数名に協力してもらって訓練を実施しました。

宝生亭さんは、「地域見守りの宿」に登録されており、山代の子どもたちの見守り活動に積極的に活動してくださっています。山代には温泉旅館がたくさんあるので、いざという時に、子どもたちが、旅館にも逃げ込んでもいいんだ、とにかく近くの大人や施設に助けを求めるべいいんだという認識を持つだけでも意義のある不審者対応訓練になったと思います。

宝生亭さん、ご協力ありがとうございました。

不審者対応を確認  
山代の旅館で児童ら  
大聖寺署の不審者対応訓練  
練は18日、加賀市山代温泉の旅館「加賀の宿宝生亭」で行われ、山代小の児童や従業員、署員ら約30人が身の守り方や警察官が駆け付けるまでの対応を確認した。



保護し、逃げた不審者の特徴を聞き取り、110番通報した。

同旅館は全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会青年部の「地域見守りの宿」制度に登録されている。宝生亭の帽子山宗社長(48)は「地域で子どもたちを守るという意識を高めていきた」と語り、6年の西出侑太さんは「実際に不審者に声を掛けられた際も周りの大人に助けを求めたい」と話した。

<北國新聞 7月19日朝刊より>

## 日本PTA全国研究大会～松田PTA会長の実践発表～



<松田会長の実践発表>



<パネルディスカッションの様子>

この夏休み、加賀市PTA連合会にとって、とても大きなイベントがありました。それは、8月22日(金)に行われた、標記の大会です。しかも、その分科会(学校教育分科会)が山代文化会館で開催され、本校PTA会長の松田小百合さんが、実践発表を行い、その後著名なゲストの方々といっしょにパネルディスカッションに参加するのです。

松田会長の実践発表のテーマは「山代小学校における『加賀市学校教育ビジョン』への保護者の理解の現状」です。この実践発表に向け、5月の連休明けから、保護者アンケートの準備、アンケートの実施と集計や分析、そして、7月に入り、実践発表のための原稿やプレゼンの作成と、愚痴ひとつ言わずポジティブに準備に取り組まれる松田会長の姿に、尊敬の念を抱きました。

大会当日も、全国から参加されたPTA代表の方々を前に、堂々とすばらしい実践発表をされました。そして、パネルディスカッションにおいても、著名なゲストの方々に対して物おじせず、保護者の立場から意見を言われていて、本当にすごいなあと感心するばかりでした。松田会長、本当に疲れ様でした。また、大会運営にご協力頂いたPTA理事・実行委員の皆様、ありがとうございました。